

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書						
講 座 の 名 称	学校法人埼玉医科大学看護学生実習指導者講習会					
実 施 方 法	① 通学 (昼間 ・ 夜間 ・ 土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)					
指定講座番号(15桁)	1112002	—	2410011	—	1	
講 座 の 創 設 年 月 日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間	過 去 一 年 の 講 座 実 績	入講者数(41 人)	修了者数 (41 人)		
2011 年 9 月 1 日	令和9年 3月 31日まで					
訓 練 期 間	6ヶ月		総 訓 練 時 間	192.5時間		
1. 教育訓練目標						
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 () <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input checked="" type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム(履修証明プログラム) () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 () 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等				
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		学校法人埼玉医科大学職員キャリアアップセンター				
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		以下のいずれも満たすこと ・講習科目は原則として全て出席している ・科目レポート、実習評価の成績が全て合格している				
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		【職種】保健師、助産師、看護師 【業界】保健医療福祉分野(病院、施設、訪問看護ステーション等) 【活動状況】埼玉医科大学看護学生実習指導者講習会は、看護基礎教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解して効果的な実習指導ができるよう、必要な知識・技術を修得することを目的としている。修了者は、看護学生を受け入れる実習施設で実習指導者として、または将来実習指導者になる予定がある者として、また看護学校において実習指導の担当として活躍している。				
2. 教育訓練の内容						
教 科 (カリキュラム)			時 間	使用教材名		
教育原理			15			
教育方法			15			
教育心理			15			
教育評価			15	シラバスに記載		
看護論			15			
看護教育課程論			15			
実習指導方法論			33			
実習指導方法演習			65			
開講式等			4.5			
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)						
①受講するに当たって必要な実務経験等		保健師、助産師又は看護師として実務経験が5年以上ある者				
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		次の①の要件を満たし、かつ②から④のいずれかに該当する者 ①大学の入学資格がある者 ②看護師等養成所の実習施設で実習指導者の任にある者 ③将来、看護師等養成所の実習施設の実習指導者となる予定にある者 ④看護師等養成所で実習指導の任にある者				
③その他						
〔 特 記 事 項 〕						

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	41	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	41	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	41	人	受験率(③/②)	100.0	%
④ ③のうち合格者数	41	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	41	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	100.0	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		40	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	40	人	}	②A:就業者計 <div>40</div>
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人		
	4 非就業		人	②B:非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	6	人	}	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) <div>40</div>
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	2	人		
	3 社内外の評価が高まる	15	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	16	人		
	6 その他の効果	9	人		
	7 特に効果はない	10	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	}	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) <div>0</div>
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	}	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) <div>0</div>
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	34	人	}	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) <div>40</div>
	2 おおむね満足	6	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

修了後のアンケートを実施して把握している。講座の全体評価は、おおむね満足、大変満足を含わせて100%で、満足度の高い講座になっている。本講座の実習では、修了者が実習指導を担当している。

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	科目レポート、実習の自己・他者評価、発表会、実習記録により総合的に判断する
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法

(1) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	①講習科目の出席率100% ②基礎分野、専門分野それぞれ科目レポートの評価C以上の合格 ③指導者実習の評価C以上の合格
(2) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	①講習科目の出席率100% ②基礎分野、専門分野それぞれ課題レポート提出により4段階の評価を実施する。C以上を合格とする。 ③指導者実習評価表を用いて4段階の評価を実施する。C以上を合格とする。 ④指導者実習内容をまとめ発表会で報告する。また実習記録の提出により把握する。 ⑤講習会終了時アンケートにより把握する。

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	対面、メール、ズームで、随時質問を受け付け、内容に応じて担当者が個別指導を行っている。また科目レポート、指導者実習の評価が不合格となった場合は、再評価で合格できるように担当者が個別指導を行っている。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	受講者全員が、現職の看護職であるため、特に具体的なバックアップは必要としない。必要性が出た場合は、個別に求人情報の提供、相談、支援を行う。

8. その他の事項

指 定 教 育 訓 練 実 施 者 名 及 び 代 表 者 名		学校法人埼玉医科大学		(代表者名:学長 竹内 勤)	
住 所 及 び 連 絡 先		埼玉県入間郡毛呂山町大字毛呂本郷38		TEL 049－276－1111	
施 設 名 称 及 び 施 設 長 名		学校法人埼玉医科大学職員キャリアアップセンター		(施設長:センター長 田島 賢司)	
住 所 及 び 連 絡 先		埼玉県入間郡毛呂山町大字毛呂本郷38		TEL 049－276－1272	
苦情受付者	氏名 内野 敏 所属 総務部総務課	事務担当者	氏名 千代田あゆ美 所属 職員キャリアアップセンター		
連絡先	TEL 049－276－1134	連絡先	TEL 049－276－1272		

専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	85.000円
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0円
① 一括払		
② 分割払		円
③ 両方可	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	<div> 第1期 85.000円 第2期 円 第3期 円 第4期 円 第5期 円 第6期 円 </div> (うち、必須教材費 円)
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	0円
	① 任意の教材費(税込額)	0円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0円
	③ 施設維持費(税込額)	0円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0円
	3. 総額 (1+2) (税込額)	85.000円